

別紙様式 1

令和3年度 事前評価実施地区一覧表

近畿中国森林管理局

整理 番号	都 道 府 県	事 業 実 施 主 体	事業名	事業実施 地 区 名	総便益 B (千円)	総費用 C (千円)	分析 結果 B/C	チェックリスト															備考		
								I 必須事項					II 優先配慮事項												
								1	2	3	4	5	1 有 効 性		2 効 率 性	3 事 業 の 実 施 環 境 等									
													(1)	(2)		(1)	(2)	(3)							
①	②											①	②	③	④	⑤									
1	鳥取県	近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署	森林環境保 全整備事業	せんだいがわ 千代川 森林計画区	11,578,686	1,226,719	9.44	○	○	○	○	○	B	A	B	A	A	A	A	A	A	B	A	A	
2	広島県	近畿中国森林管理局 広島森林管理署	森林環境保 全整備事業	せとうち 瀬戸内 森林計画区	10,083,977	1,803,013	5.59	○	○	○	○	○	B	A	B	A	A	A	A	A	A	B	A	A	

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	令和4年度～令和8年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（せんだいがわ） 千代川森林計画区 （鳥取県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、鳥取市を含む1市4町に所在する15,324haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、鳥取県東部に位置し、東は兵庫県、南は岡山県、西は天神川森林計画区に接し、東中国山地脊梁部に比較的大きな団地が所在している。</p> <p>本計画区内の森林面積121千haに占める国有林野の割合は、13%と低いものの、国有林野面積の96%が水源かん養保安林等に指定されており、下流部の水源として重要な役割を担っている。</p> <p>また、鳥取市街地に所在する旧城山国有林は市民の身近な存在として親しまれており、保健・文化・教育的な活動の場として広く利用されている。</p> <p>本計画区を含めた鳥取県内の民有林野面積の人工林率は、55%に対して本計画区内の国有林野の人工林率は57%と同水準にあるとともに、この森林蓄積の約8割が10齢級以上と森林資源として成熟した林分となっている。</p> <p>このため、森林の有する公益的機能の持続的な発揮と併せて木材の安定供給及び地域の活性化に寄与するため、植栽や保育等の森林整備を積極的に実施するとともに、自然環境に配慮した路網整備に取り組む必要がある。</p> <p>本事業では、これら人工林について、作業効率の向上とコスト縮減を図るため、主伐箇所では積極的にコンテナ苗を採用した伐採・造林一貫作業システムを推進するとともに、地球温暖化防止をはじめ、水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、間伐等の保育作業を実施し、効率的な森林整備を実施するとともに路網を整備し、間伐材等の利用促進に取り組んでいくこととする。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>177</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,450</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.7</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.6</td> <td>(km)</td> </tr> </table> <p>・総事業費 1,075,349（千円）（税抜き 977,590（千円））</p>			森林整備	更新面積	177	(ha)		保育面積	2,450	(ha)	路網整備	開設延長	2.7	(km)		改良延長	1.6	(km)
森林整備	更新面積	177	(ha)																
	保育面積	2,450	(ha)																
路網整備	開設延長	2.7	(km)																
	改良延長	1.6	(km)																
費用便益分析	<p>総便益（B） 11,578,686（千円）</p> <p>総費用（C） 1,226,719（千円）</p> <p>分析結果（B/C） 9.44</p>																		
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	<p>・定量的な費用対効果分析の結果及び定性的な評価結果を総合的に検討した結果、事業の実施は妥当である。</p>																		

評価結果	<ul style="list-style-type: none">・ 必要性：地球温暖化防止対策や土砂流出防止、水源涵養、保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。・ 効率性：路網整備においては、現地の地形、地質に適した工種によって、森林整備箇所へのアクセスの向上をさせ、また、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことにより、コストの増加を抑えていくこととしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。・ 有効性：森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する公益的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>
------	--

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

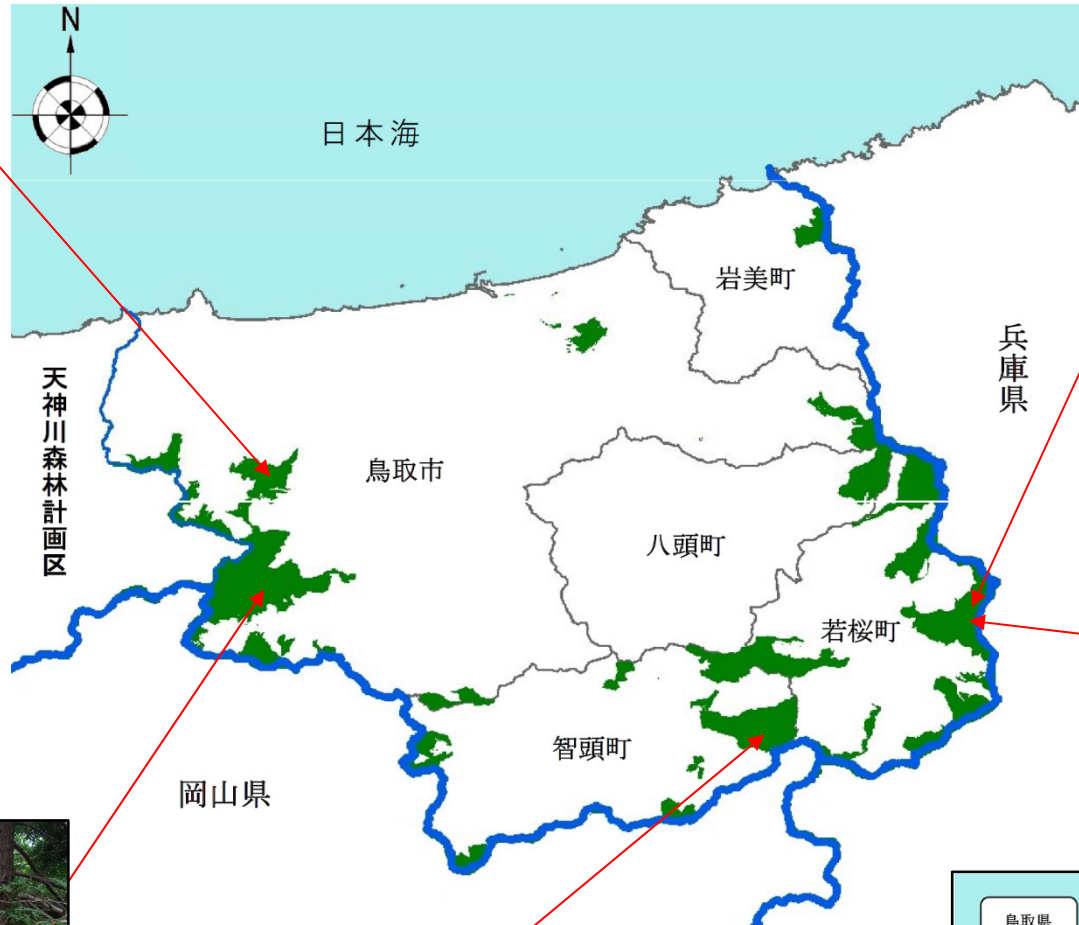
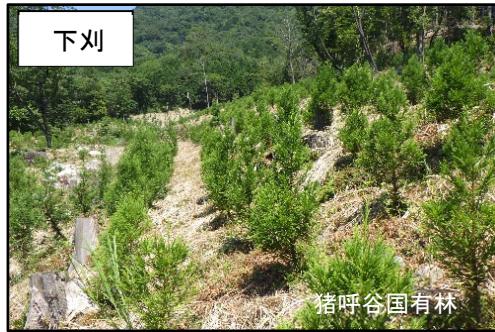
都道府県名：鳥取県

施行箇所：千代川森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,035,465	
	流域貯水便益	923,875	
	水質浄化便益	3,381,961	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,950,381	
環境保全便益	炭素固定便益	1,482,842	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	223,592	
	木材利用増進便益	119,297	
	木材生産確保・増進便益	151,456	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,309,810	
総 便 益 (B)		11,578,686	
総 費 用 (C)		1,226,719	
費用便益比	$B \div C = \frac{11,578,686}{1,226,719} = 9.44$		

森林環境保全整備事業 千代川森林計画区 事業概要図



隣接の天神川森林計画区にて



事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	令和4年度～令和8年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（せとうち） 瀬戸内森林計画区 （広島県）		事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、広島県呉市を含む7市に所在する14,664haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は、広島県南部に位置し、北東部の芦田川上流域、中央部の沼田川中流域、南西部の黒瀬川中から下流域に団地が集中しているほか瀬戸内海沿岸部にも比較的小規模な団地が点在している。</p> <p>本計画区内の森林面積179千haに占める国有林野の割合は、8%と低いものの、国有林野面積の58%が水源かん養保安林等に指定されており、下流部の水源として重要な役割を担っている。</p> <p>また、風光明媚な瀬の浦や尾道水道周辺に位置する国有林では、遊歩道や展望台が整備されており、保健休養の場として多くの人に利用されている。</p> <p>本計画区を含めた、広島県内の民有林人工林率31%に対して、本計画区内の国有林野の人工林率は50%と高い水準にあるとともに、この森林蓄積の約8割が10齢級以上と森林資源として成熟した林分となっている。</p> <p>このため、森林の有する公益的機能の持続的な発揮と併せて木材の安定供給及び地域の活性化に寄与するため、植栽や保育等の森林整備を積極的に実施するとともに、自然環境に配慮した路網整備に取り組む必要がある。</p> <p>本事業では、これら人工林について、作業効率の向上とコスト縮減を図るため、主伐箇所では積極的にコンテナ苗を採用した伐採・造林一貫作業システムを推進するとともに、地球温暖化防止をはじめ、水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、間伐等の保育作業を実施し、効率的な森林整備を実施するとともに路網を整備し、間伐材等の利用促進に取り組んでいくこととする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>223 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,732 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.1 (km)</td> </tr> </table> <p>・総事業費 1,537,358 (千円) (税抜き 1,397,598 (千円))</p>				・主な事業内容	森林整備	更新面積	223 (ha)			保育面積	2,732 (ha)		路網整備	開設延長	2.5 (km)			改良延長	0.1 (km)
・主な事業内容	森林整備	更新面積	223 (ha)																	
		保育面積	2,732 (ha)																	
	路網整備	開設延長	2.5 (km)																	
		改良延長	0.1 (km)																	
費用便益分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>10,083,977 (千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>1,803,013 (千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>5.59</td> </tr> </table>				総便益 (B)	10,083,977 (千円)	総費用 (C)	1,803,013 (千円)	分析結果 (B/C)	5.59										
総便益 (B)	10,083,977 (千円)																			
総費用 (C)	1,803,013 (千円)																			
分析結果 (B/C)	5.59																			
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	<p>・定量的な費用対効果分析の結果及び定性的な評価結果を総合的に検討した結果、事業の実施は妥当である。</p>																			

評価結果	<ul style="list-style-type: none">・ 必要性：地球温暖化防止対策や土砂流出防止、水源涵養、保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。・ 効率性：路網整備においては、現地の地形、地質に適した工種によって、森林整備箇所へのアクセスの向上をさせ、また、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことにより、コストの増加を抑えていくこととしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。・ 有効性：森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する公益的機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>
------	--

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：広島県

施行箇所：瀬戸内森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,492,200	
	流域貯水便益	637,438	
	水質浄化便益	2,388,878	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,196,961	
環境保全便益	炭素固定便益	1,536,058	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	21,460	
	木材利用増進便益	15,265	
	木材生産確保・増進便益	166,950	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	628,767	
総 便 益 (B)		10,083,977	
総 費 用 (C)		1,803,013	
費用便益比	$B \div C = \frac{10,083,977}{1,803,013} = 5.59$		

森林環境保全整備事業 瀬戸内森林計画区 事業概要図

